

「第 40 回土木史研究発表会」の開催と講演用論文および討議欄の募集について

2020.3.5

2020.4.7 更新

【緊急通知】

土木史委員会発表小委員会にて、慎重に審議した結果、以下の通り、皆様にお伝えします。

- ・新型コロナウイルスの蔓延防止に関する社会的状況を鑑み、2020 年度 第 40 回 土木史研究発表会を、関西大学にて人々が集まる形態で開催することはできない、と判断しました。
- ・研究発表会及びシンポジウムは、WEB 開催を中心に、何らかのかたちで実施することを検討し、2020 年 4 月 30 日までにお知らせいたします。
- ・発表論文、及び討議については、締め切りを 2020 年 4 月 20 日（月）17:00 と一週間延長して募集します。
- ・このような状況になったことで、既に発表や参加のお申込みをされている場合は、キャンセルを受け付けますので、事務局までお申し出ください。投稿料、参加費は、全額払い戻しいたします。
- ・2020 年度については、上記の発表会、シンポジウムの開催形態の決定後も、発表や参加のキャンセルは認めることとします。その場合も、投稿料、参加費は、全額払い戻しいたします。

【論文・討議欄の申込み締め切り】 2020 年 4 月 ~~13~~ 20 日(月)17:00

【研究発表会の日程】 2020 年 7 月 11 日(土)～12 日(日)

講演申込み・論文投稿フォーム

土木史委員会(委員長:知野泰明・日本大学工学部准教授)では、第 40 回土木史研究発表会の開催(2020 年 7 月 11～12 日、関西大学(千里山キャンパス 百周年記念会館))にあたり、講演用論文を募集いたします。皆さまのご投稿をお待ち申し上げます。

講演申込みと発表用論文の提出は同時の電子登録となっております。締め切りは、**2020 年 4 月 ~~13~~ 20 日(月) 17:00** です。

電子登録の方法の詳細は、当ホームページにてご案内申し上げます。また、ご研究の環境によって電子投稿が困難な場合には、事務局担当者まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

土木史を専門に研究されている方に限らず、土木工学の各分野を専門とされている皆さま、土木遺産の活用や歴史的環境の保全などに関する研究や実践にお取り組みになられている、あるいはチャレンジされようとし

ておられる皆さま、さらに土木史研究に取組み始めた学生の皆さまも、この機会に是非ともご参加ください。ご発表ののちに土木学会論文集への投稿を予定している方に、委員会から論文の改善点についてのコメントを提供しております。これまで土木史研究のご経験がない方も是非、ご投稿ください。非会員によるご投稿も受け付けます。また、過去の「土木史研究」に掲載された論文についての討議欄も従来通り設置していますので、あわせて電子投稿システムをご利用下さい。

本年度は、通常のセッションに加えて、下記の企画セッションを実施する予定です。下記のテーマに関連した話題をお持ちの方は、是非、企画セッションで投稿して下さい。なお、プログラム編成上、一般セッションでの発表となることがあります。

○災害と土木史

(震災等により被災した土木遺産の復旧・復興や周辺地域の復興に関する調査・研究・実践)

○土木史と教育

(土木史を活かした学習(授業・市民講座)、教材、土木教育の歴史等に関する調査・研究・実践)

○土木史と観光

(土木史を観光資源として活用した様々な取り組み、等に関する調査・研究・実践)

○歴史的建造物の保存・修復

(歴史的な土木建造物の保存に関する取り組み、および修復技術等に関する調査・研究・実践)

○関西の土木史(ご当地土木史)

(関西のローカルな土木史や身近な土木遺産に関する調査・研究・実践)

1. 主催:土木学会(担当:土木史委員会)
2. 期日:2020年7月11日(土)~12日(日)
3. 会場:関西大学(千里山キャンパス 百周年記念会館) 大阪府吹田市山手町3-3-35
4. 論文の書式:[土木学会論文集の書式](#)に準じる形になります。

ただし、**最終ページの英文タイトル、著者名、要旨は不要**です。

また、原稿受理日は締切日である**(2020.4.20 受付)**とご記載ください。

討議欄の書式は今までと変わりません。ご注意ください。

論文書式見本:[Word\(和文\)](#)、[Word\(英文\)](#)、[PDF\(和文\)](#)、[PDF\(英文\)](#)

[原稿作成上の注意\(こちら\)](#)と[PDFファイルの作成の手引き\(こちら\)](#)もご覧ください。

討議欄執筆要領:[PDF](#)

討議欄A・書式見本:[Word](#)、[PDF](#)

討議欄B・書式見本:[Word](#)、[PDF](#)

5. 論文・討議欄の申し込み・投稿方法:

論文・討議欄投稿方法:下記の投稿フォームからお申込ください。

→[\[講演申込み・論文投稿フォーム\]](#)

締切期日:**2020年4月13日(月)17:00**

※論文は、『土木史研究(講演集)Vol.40』(2020年7月発行予定)に掲載されます。

※研究発表会は、研究成果を発表し、研究者間の交流を深める場であり、発表者は会場にて発表する義務があります。やむを得ない場合は、連名者が発表をして下さい。なお、発表辞退の場合は、翌年の『土木史研究 講演集』、「土木史フォーラム」、土木史研究委員会HP等でその旨を記載し、当該発表ならびに講演原稿はなかったことといたします。

※また本年度から、発表件数が多かった場合に、試験的にポスターセッションを導入しようと考えました。オーラルでの発表を基本としますが、セッションでの発表件数が多い場合、ポスターセッションにてご発表いただく場合がございます。

※論文掲載料：学会事務局から送付される請求書によりお支払い下さい。

論文は、4ページまで1万4,000円、6ページまで2万1,000円、8ページまで2万8,000円、10ページまで4万円、12ページまで5万4,000円(9ページ以上は累進制を採用しております)です。なお、**著者負担**でカラー印刷も受け付けます(1ページあたり5万円で実費清算します)。

討議欄は、1/2ページ当たり2,000円です(討議回答については費用をいただきません)。

6. 参加費：

会員・非会員：5,000円、学生：2,000円

(事前の参加申込・支払いをお願いします。詳細は後日、HPでお知らせします。)

講演集：4,500円(当日会場にて申し受けます。なお、掲載論文の著者には講演論文集1冊が無料で配布されます。)

『土木史研究(講演集)Vol.40』事前販売のお知らせ

発表会当日の議論をより活性化することを主たる目的として、発表会開催前にも、講演集を販売いたします。ご希望の方は、下記の申込フォームよりお申込ください。講演集の発送は7月以降となり、請求書も同時期にお送りいたします。

→[[講演集申込フォーム](#)]

7. 見学会・シンポジウム：

発表会に併せ、下記の企画を予定しております。

1) シンポジウム 2020年7月11日(土)午後

「被災建造物の土木遺産的価値、保存の意義」(仮)

詳細については、後日土木史委員会HPで公開します。

2) 見学会 2020年7月10日(金) 13:00~17:00(予定)

「阪神・淡路大震災による被災建造物群・見学ツアー」

申込方法など詳細については、後日土木史委員会HPで公開します。

8. お問い合わせ：

土木学会土木史委員会発表小委員会 (担当職員：小澤 一輝)

Tel:03-3355-3559 / FAX:03-5379-0125

Eメール：40dobokushi-manage@jsce.or.jp(メール送信の際は、@を半角に直して下さい。)